

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山南支援学校	実践者名	木野 達也
実践場面 (教科)	課題学習 (社会科)		
単元・題材名	・SDGs について (日本理化学工業ダストレスチョーク編)		
学習目標・ねらい	・SDGs について、具体例を通して知ることができる。		
対象の児童生徒の 実態	・iPadの簡単な操作を行うことができる。 ・ひらがな、カタカナ、小学校低学年程度の漢字の読み書きをすることができる。		
活用の概要 (使用アプリ名を含む) ※写真も掲載する			
教師： 授業で視聴したYoutubeのURLと プリント (PDF) を、Google Classroomを 用いて対象生徒に配信する。 ↓ 生徒： ①動画を視聴する。 ②プリントの空欄に手書きで答えを記入 する。 (Google Classroomアプリを使うと、 iPadでPDFファイルに手書きすること ができる) ③提出する。 ↓ 教師： 生徒と同様の方法で PDF に赤字で書き込み、返却する。  プリントの一部			
活用のポイント・改善策等			
・新型コロナウイルス対応の関係で出席停止になった生徒が端末を持ち帰り、オンデマンドで学習に取り組んだ。本人に風邪などの症状はなく、保護者からの要望もあったため、授業で使用した動画のURLとプリント (PDF) をClassroomで配信した。 ・保護者にiPadの操作方法など、課題のやり方を電話で伝えて取り組んだ。急な欠席にも対応できるよう、普段から児童生徒にiPadを用いた学習に慣れてもらうとともに、保護者にWi-Fiの接続など、児童生徒の学習のフォローをしてもらえるような手立てが必要である。			